

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 翔っ子		公表日		令和7年 3月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	9		手狭な空間で体を動かせる空間がない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	8		職員があと2.3人は必要である。担当者会議等で職員が離れると配置数が足りなくなる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3		照明スイッチが児童の手が届く範囲にある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2		空間が狭く、早い段階で元の2事業所に分ける必要あり。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	職員の意見等を反映させるために目安箱を設置。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	2			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	1			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	2	週一回ケースカンファを開催。情報の共有化を図る		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	3			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	4		空間に対して人数が多く、安全確保に日々追われ平日は集団活動が出来ない状態である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	3	支援開始前には職員間で打合せを行うようにしている。個別支援に関して、別に時間を設け、全職員で情報共有を行っている	新人職員の質の向上の為、研修及び打ち合わせにて情報の共有不足
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	5	支援翌日に必ず前日の支援内容の振り返りを行い情報の共有を行っている。	シフトで勤務している為、支援終了後の意見交換の時間がとれない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	2	当日の事はメモに残し、翌日午前中に記録している	日々の記録について、当日記録することが出来ない
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	2		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	・他機関へ受診等した際には可能な範囲で聞き取りを行っている	・主治医意見書等の情報が不足
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	移行支援会議等を開催し、情報を共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		現在は交流する機会がなくなっている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	2		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	・外部からのお知らせが来たら連絡帳に挟んだり玄関に張り出したりしている		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	3		・現在は出来ていない
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		・個人情報にまつわるものはすべて裁断機を通して処分している
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	各訓練は年に1回以上行っている。	・感染症対策マニュアルは社内と室内に作成した。今後誰もが各マニュアルを閲覧出来るようにする予定。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	2	必要に応じて内服薬情報や主治医意見書を把握するようにしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	安全管理を図るために、出来るだけスペースを分ける努力を行っている	事業所が手狭になっており、安全管理の十分な措置が取れていない
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	個別に安全管理が必要なケースは保護者と情報を共有し、エスケープゾーン等の活用を行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハットの情報を職員と共有。検討と対策について周知している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	外部研修の活用、今年度よりオンライン研修も追加し研修を行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 翔っ子		公表日 令和7年3月14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	9		手狭な空間で体を動かせる空間がない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	8		職員があと2.3人は必要である。担当者会議等で職員が離れると配置数が足りなくなる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3		照明スイッチが児童の手が届く範囲にある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2		空間が狭く、早い段階で元の2事業所に分ける必要あり。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	職員の意見等を反映させるために目安箱を設置。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	2		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	2	週一回ケースカンファを開催。情報の共有化を図る	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	5		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	3		

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	4		空間に対して人数が多く、安全確保に日々追われ平日は集団活動が出来ない状態である。
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	3	支援開始前には職員間で打合せを行うようにしている。個別支援に関して、別に時間を設け、全職員で情報共有を行っている	新人職員の質の向上の為、研修及び打ち合わせにて情報の共有不足
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	5	支援翌日に必ず前日の支援内容の振り返りを行い情報の共有を行っている。	シフトで勤務している為、支援終了後の意見交換の時間がとれない。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	2	当日の事はメモに残し、翌日午前中に記録している	日々の記録について、当日記録することが出来ない
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	2		
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	2		
	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1	言葉だけでなく絵カードを設置することで、伝えやすくし自己決定がしやすい工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	1		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5	今後地域支援センター等の会議に参加。	現在児童発達支援センターの連携等取り組むことが出来ていない
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	8	地域の広報誌を玄関等でお知らせしている	現在地域児童館等との交流が出来ておらず、活動を共にする機会がない
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	3	今後は出来る範囲で、参加するようにする	昨年末より、協議会に参加することができなかった
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	保護者のお迎え時には、利用の様子や気になる点を伝え、意見交換を行っている。場合によっては、メール等で対応している	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	他事業所、相談員と連携してして支援を行うようにしている	新体制になっていから、支援に関して保護者との信頼関係が希薄になっており、不安である

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5	昨年までは、年1回保護者との交流会をおこなっており、交流する機会を設けていた。	新体制になってから、保護者会等を開催しておらず、保護者同士の交流する機会を設けていない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	保護者より利用時の苦情について早期に職員に対して周知徹底を行う体制をとっている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	3	毎月の広報誌の掲載及びHPにて情報発信するようにしている	昨年末より、HPの更新が停止しており、情報共有が出来なくなっている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	必要に応じて個人用の絵カードの作成及び共有の絵カードやスケジュール等を作成している。保護者には連絡帳にて対応。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5	法人全体でのイベント等を等して、保護者や地域住民との交流を行っている	新体制になってから職員体制が整っていない為、出来なくなっている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	各訓練は年に1回以上行っている。	マニュアル等で不十分なところがあり、見直しが必要。机上訓練等を行うことが出来ないため、今後必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	2	必要に応じて内服薬情報や主事意見書を把握するようにしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	安全管理を図るために、出来るだけスペースを分ける努力を行っている	事業所が手狭になっており、安全管理の十分な措置が取れていない
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	個別に安全管理が必要なケースは保護者と情報を共有し、エスケープゾーン等の活用を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハットの情報を職員と共有。検討と対策について周知している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	2	外部研修の活用、今年度よりオンライン研修も追加し研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1			